MA1507-D © 2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

P

5410P*JA

取扱説明書

5410

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

◆操作や注意事項については、ウェブサイトの情報もご覧ください
http://support.casio.com/wat/hybrid/

◆十分に充電してお使いください

- ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

参照 充電量の確認…P.19

この時計の特長

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

→P.23

◆正確な時刻がわかります

GPS衛星の電波や標準電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→P.27

◆ワールドタイムがわかります

世界40タイムゾーンの時刻を表示できます。

→P.44

◆ストップウオッチとして使えます

経過時間を1/20(0.05)秒単位で24分まで計測できます。

→P.47

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

→P.48

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

→P.50

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

二次電池の取り扱いについて

本機から二次電池を取り出さないでください。二次電池の交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。指定外の電池を使用したり、電池交換を誤ると、破裂、発熱、発火などによるやけどや火災の原因となります。

やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って二次電池を飲み込むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

やむを得ず取り出した二次電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長 ..... 表紙裏面

安全上のご注意 1

本書について 9
- 本文中の記号について 9
- 各部の名称 9
- 文字板の表示について 10
- 用語解説 11

ご購入直後に操作してください（位置情報の取得） 13

日常のご使用の大まかな流れ 14

ご使用になる前に 17
- りゅうずの操作 17
- 針と日付の動き方について 19
- 充電量の確認 19
- 温度による機能制限について 20
- 時刻や日付の合わせ方 20

光で充電（ソーラー充電） 23
- 充電するには 23
- 充電不足や充電切れ 24
- 充電にかかる時間 25
- 節電（パワーセービング機能） 25

自動的に時計を合わせる（GPS 電波と標準電波） 27

GPS 電波で時計を合わせる 28
- 受信に適した場所（GPS 電波） 28
- ご購入直後や旅先での時刻合わせ 29
- 日常の時刻合わせ（GPS 電波） 31
- いま時刻合わせをしたいとき 32
- うるう秒について 33

標準電波で時計を合わせる 34
- 受信に適した場所（標準電波） 34
- 日常の時刻合わせ（標準電波） 34
- 標準電波の受信範囲と条件 35

GPS 電波と標準電波の共通事項.....37
受信結果（取得結果）を確認する 37
受信のご注意 38

モードの種類と切り替え.....39
各モードでできること 39
操作概略..... 40

飛行機内でのご使用について
（機内モード）.....42

ワールドタイム.....44
針の見方..... 44
ワールドタイム都市（タイムゾーン）を選択する..... 44
UTC（協定世界時）に切り替える..... 45

ストップウオッチ.....47
針の見方..... 47
計測する..... 47

タイマー 48
針の見方..... 48
計測時間を設定する..... 48
計測する..... 49
タイムアップ音を止める 49

アラーム.....50
針の見方..... 50
アラーム時刻を設定する..... 50
アラームの ON/OFF を切り替える 51
アラーム音を止める 51

ライト 52

手動での各種の設定や調節.....53
ホーム都市（タイムゾーン）の設定..... 53
サマータイムの設定 54
時刻や日付を手動で合わせる..... 56

針や日付のずれ補正.....60
針や日付のずれを補正する 61

お困りのときは 63
時刻や日付が自動的に合わない..... 63
針の動きと表示 63
りゅうずの操作..... 64
充電 65
電波受信（GPS 電波）..... 65
電波受信（標準電波）..... 66
電波受信（共通）..... 67
アラーム..... 67
製品仕様.....68
ご使用上の注意.....70
お手入れについて.....73
本製品で使用している電池について 74
金属バンドの駒詰めについて 74
都市・タイムゾーン表示と時差一覧 75

本書について

本文中の記号について

注意：誤った使用方法によるけがや故障を防ぐための情報を記載しています。

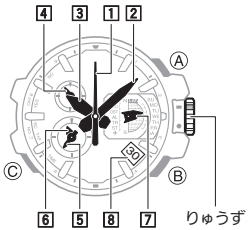
重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

この時計の操作は、Ⓐ、Ⓑ、Ⓒボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。



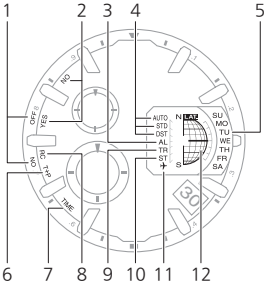
1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針
（24 時間制）
5 小分針
6 小時針
（24 時間制）
7 モード針
8 日付

参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下の内容を表します。



1. ON OFF:アラームモード
   アラームの ON/OFF を切り替える…P.51
2. Y(YES)/N(NO):受信結果(取得結果)の確認
   受信結果（取得結果）を確認する…P.37
3. AL:アラームモード
   アラーム…P.50
4. AT(AUTO) STD DST:サマータイムの設定
   サマータイムの設定…P.54
5. SU MO TU WE TH FR SA:曜日
6. T+P:GPSから時刻情報と位置情報を取得中
   GPS から位置情報を取得する…P.29
7. T(TIME):GPSから時刻情報を受信中
   GPS から時刻情報を受信する…P.32
8. RC:標準電波を受信中
9. TR:タイマーモード
   タイマー…P.48
10. ST:ストップウオッチモード
    ストップウオッチ…P.47
11. ✈:機内モード
    飛行機内でのご使用について（機内モード）…P.42
12. LAT N S:大まかな緯度を表示
    (N側が北緯、S側が南緯)
    GPS から位置情報を取得する…P.29

用語解説

本書の全般に出てくる用語を説明します。

- **GPS（グローバル・ポジショニング・システム）**
  人工衛星による測位システム（全地球測位システム）です。GPS 衛星が送信する電波（以下、GPS 電波）には、時刻情報と軌道情報が含まれています。複数の GPS 衛星から距離を計算して時計の位置情報を取得します。
- **標準電波**
  時刻と周波数の基準として政府や機関が送信している電波です。標準電波には時刻情報が含まれています。
- **タイムゾーン**
  共通の標準時（スタンダードタイム）を使う地域をタイムゾーンと呼びます。
  都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75
- **サマータイム**
  標準時（スタンダードタイム）から 1 時間や 30 分など時間を進める夏時間制度のことです。
  サマータイムを実施する期間や進める時間は、国や地域により異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- **ホーム都市（タイムゾーン）**
  現在時刻や日付を表示する際に、基準とする都市やタイムゾーンのことです。GPS から位置情報を取得したときは、現在地の都市やタイムゾーンが時計に設定されます。
  GPS から位置情報を取得する…P.29
  ホーム都市（タイムゾーン）の設定…P.53
- **ワールドタイム都市（タイムゾーン）**
  ワールドタイムの現在時刻や日付を表示する際に、基準とする都市やタイムゾーンのことです。
  ワールドタイム…P.44

- **UTC（協定世界時）**
  世界各地の標準時（スタンダードタイム）はUTC（協定世界時）を基準に定められています。UTC（協定世界時）は高精度なTAI（国際原子時）に基づいています。

  都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75

- **うるう秒**
  地球の自転周期には不規則性があるため、UTC（協定世界時）とTAI（国際原子時）には、わずかな差があります。その差の調整のために、追加あるいは削除される「秒」をうるう秒といいます。

ご購入直後に操作してください（位置情報の取得）

位置情報の取得に成功すると、時計が現在地を認識し、時刻と日付を合わせます。

重要

- 操作の前に充電量をご確認になり、不足しているときは充電してください。
  充電量の確認…P.19
- 時刻モードの通常状態で操作してください。
  操作概略…P.40

- 位置情報の取得には、最大で 13 分かかる場合があります。
- 工場出荷時に、日本国内の位置情報を取得しています。日本国内のご使用で、時刻と日付が合っている場合は、位置情報を取得しなくてもご使用いただけます。

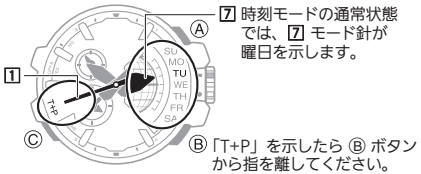
❶ GPS 電波の受信に適した場所に移動してください。

受信に適した場所（GPS 電波）…P.28

❷ 時計の文字板を真上に向けて、位置情報を取得してください。

1 秒針が「T+P」の位置に移動するまで、Ⓑ ボタンを 3 秒以上押し続けます。

- 1 秒針が「T+P」以外の位置に移動しても「T+P」に移動するまで押し続けてください。



- 位置情報の取得に成功すると、1 秒針が Y（YES）を示した後、自動的に現在地の時刻と日付を表示します。
- 位置情報を取得して、時刻と日付を合わせた後は、次ページの「同じタイムゾーンでご使用を続けられる場合」に沿ってご使用ください。
- 位置情報の取得は多くの電力を消費します。必要があるときのみ操作してください。

日常のご使用の大まかな流れ

ご購入直後に位置情報を取得した後は、以下の流れでご使用ください。

◆同じタイムゾーンでご使用を続けられる場合

GPS 電波または標準電波を受信すると、時計が自動的に時刻や日付を合わせます。

- 日本国内のように標準電波を受信できる地域では、標準電波を受信して時刻や日付を合わせることをおすすめします。

	標準電波	GPS 電波
夜間 （午前 12 時から午前 5 時）	受信に成功するまで、一定間隔で自動受信を開始します • 時計を窓辺に置いてください	自動受信はしません（ボタン操作による受信は可能）
日中 （午前 6 時から午後 10 時）	受信しません	光が連続して時計に当たると自動受信を開始します（ボタン操作による受信も可能） • 次の対応をしてください - ビルや樹木など視界をさえぎるものがなく、上空が良く見える屋外に行く - 時計の文字板を真上に向ける

重要

- 電波の受信には多くの電力を消費します。充電量が不足しないように、こまめに文字板に光を当てて充電してください。
- 1 日に 1 回、どちらか（標準電波または GPS 電波）の受信に成功すると、その日は自動受信をしません。

- 標準電波は国や地域によっては受信できません。
  標準電波の受信範囲と条件…P.35
- ボタン操作をすれば、いつでも GPS 電波を受信して時刻や日付を合わせることができます。
  GPS から時刻情報を受信する…P.32
- 詳細は「自動的に時計を合わせる（GPS 電波と標準電波）」（27 ページ）、「GPS 電波で時計を合わせる」（28 ページ）、「標準電波で時計を合わせる」（34 ページ）でご確認ください。

◆別のタイムゾーンに移動されるときは

次のようなときは、移動先で位置情報を取得してください。
- 日本国内から海外に移動されるときや、海外から日本国内に移動されるとき
- 海外に滞在されていて、別のタイムゾーンに移動されるとき

GPS から位置情報を取得する…P.29

例） 東京からロサンゼルス、ロサンゼルスからニューヨークに移動

位置情報の取得に成功すると、時計が現在地を認識して、時刻と日付を合わせます。

- 受信に成功した後は、「同じタイムゾーンでご使用を続けられる場合」に沿ってご使用ください。

受信結果（取得結果）を確認する…P.37

重要

- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、機内モード（42 ページ）に切り替えてください。
  飛行機を降りた後、機内モードを解除し、位置情報を取得して時刻や日付を合わせてください。

ご使用になる前に

りゅうずの操作

りゅうずはロック構造になっており、ロックを解除してから「引く・回す・戻す」の操作をします。

重要

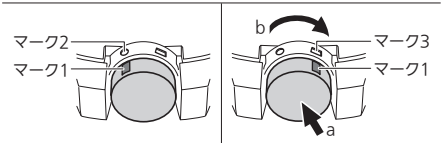
- 日常のご使用では、りゅうずを必ずロックしておいてください。誤操作および衝撃による損傷を予防できます。

◆ロックする

❶りゅうずを戻した状態にします（後述の「引く・回す・戻す」参照）。

戻す前にロック作業をすると、意図しない設定になることがあります。ご注意ください。

❷下記の操作で、りゅうずをロックします。



1. りゅうずを回して、マーク1※をマーク2に合わせます。 ※ マーク1は3つあります。いずれを使用してもかまいません。	2. りゅうずを押しながら(a)止まるまで右に回して(b)、マーク1をマーク3に合わせます。

りゅうずを軽く引いてみて、引き出せない状態（ロック状態）になっていることを確認してください。

◆ロックを解除する

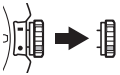
りゅうずを回して、マーク1をマーク2の位置に戻します。

◆引く・回す・戻す

重要

- これらの操作をする前に、必ずロックを解除してください。

本書のイラストでは、以下のように表現します。
りゅうずは 2 段階に引けます（無理に引っ張らないでください）。

1 段引き	
2 段引き	
回す	
戻す	

りゅうずを回すと、以下の操作で針の動きを早送り／早戻しすることができます。早送りには2段階あります。早送り 2 の状態で針がもっとも速く動きます。

早送り 1/ 早戻し		りゅうずを引いた状態で、時計方向（早送り）または、時計方向と逆（早戻し）に素早く3度回す
早送り 2		早送り 1 のときに、りゅうずを素早く3度回す
解除		りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押す

参考

- 早送り 1/ 早戻しを使用できる操作
  タイマー計測時間の設定、アラーム時刻の設定、手動の時刻合わせ、針のずれ補正
- 早送り 2 を使用できる操作
  タイマー計測時間の設定、アラーム時刻の設定、手動の時刻合わせ

針と日付の動き方について

- この時計は、[2] 分針と [3] 時針が連動しています。[3] 時針を合わせるときは、[2] 分針も一緒に動きます。

充電量の確認

時刻モードに切り替えた直後の秒針の位置で、充電量を確認してください。

操作概略…P.40

0 秒位置	10 秒位置	20 秒位置	30 秒位置
充電されています。		充電量が不足しています。時計を光に当てて、充電してください。	

以下の場合も充電量が不足しています。時計を光に当てて充電してください。

- 秒針が 2 秒ごと、または、5 秒ごとに動いている

充電不足や充電切れ…P.24

重要

- 秒針が 0 秒位置または 10 秒位置を示しても、普段から時計を光に当てることをおすすめします。

温度による機能制限について

時計の温度が約− 10℃以下または約 60℃以上では、次の機能が使用できなくなります。

- GPS 電波や標準電波の受信
- 操作音、タイマーやアラームの音
- ライト
- 針や日付のずれ補正

時刻や日付の合わせ方

時刻や日付が合っていなくて、お困りになったときに操作してください。

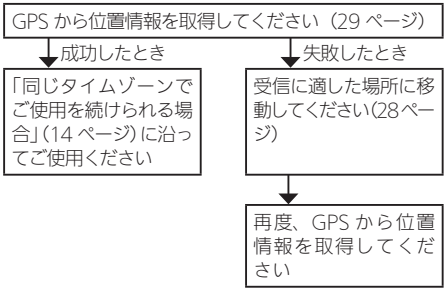
重要

- 操作の前に充電量をご確認になり、不足しているときは充電してください。

充電量の確認…P.19

時刻モードの通常状態で操作してください（機内モードは解除してください）。

操作概略…P.40



◆時刻や日付が合わないときは

上記を操作しても、時刻や日付が合わないときは、針や日付の基準位置がずれている可能性があります。補正操作をしてください。

- 電波を受信して時刻合わせをする際に、時計内部の演算処理などにより 1 秒未満のずれが発生します。上記の 1 秒未満のずれには、補正操作は効果がありません。

針や日付のずれ補正…P.60

上記を操作しても、時刻や日付が合わない場合は、次をお試しください。

ホーム都市（タイムゾーン）とサマータイムを設定してください（53 ページ、54 ページ）

日本国内でご使用の場合

以下の設定に合わせてください
ホーム都市：東京（TOKYO/TYO）
サマータイム設定：AT（AUTO）

海外でご使用の場合

ご使用の都市（タイムゾーン）を「都市・タイムゾーン表示と時差一覧」(75ページ)から選んで設定してください

以下のいずれかの手段をお使いください

- GPS 電波の時刻情報を受信して時刻を合わせてください（32 ページ）
- 標準電波を自動受信して時刻を合わせてください(34 ページ)
- GPS電波を自動受信して時刻を合わせてください(31 ページ)

重要

- 標準電波は受信できる地域と受信できない地域があります。

標準電波の受信範囲と条件…P.35

参考

- 以下をお試しになっても、時刻や日付を合わせることができない場合は、ボタンとりゅうずの操作で、時刻や日付を合わせてください。
  - ご使用の場所を変えて GPS 電波や標準電波の受信
  - 針や日付のずれ補正

時刻や日付を手動で合わせる…P.56

- 上記の場合も、GPS 電波の受信に適した場所に移動された後、位置情報を取得して、時刻と日付を合わせられることをおすすめします。
- GPS 電波や標準電波を受信しないときも、平均月差 ± 15 秒の精度で時計は動きます。

光で充電（ソーラー充電）

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光を当てるように心がけてください。

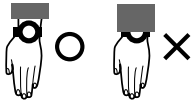
注意

- この時計は特殊なバッテリー（二次電池）を使用しています。
  - 時計本体が約－ 10℃以下または約 60℃以上になると充電できません。
  - 時計が停止してから約３ヵ月以上充電しないでいると過放電が検出されて、充電できなくなる可能性があります。

充電不足や充電切れ…P.24

充電するには

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

注意

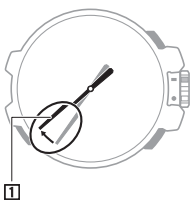
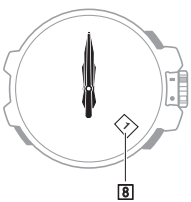
- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電量は針の動きで確認します。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて速やかに充電してください。

充電不足	充電切れ
	
1秒針が2秒ごとに動きます、さらに充電量が減ってくると、1秒針が5秒ごとに動きます（バッテリー充電警告機能）	すべての針が12時位置で停止します • 8 日付が 1 を表示します

参考

- ボタン操作などで一時的に電池が消耗したときは、すべての針と 8 日付が一時的に動作を停止します。

充電切れのときに、しばらく光を当て続けると、1 秒針が反時計回りに動き 57 秒の位置で停止します。これは、充電を開始したことを示します。充電時間については、次をご覧ください。

1 秒針が 1 秒ごとに動き出してからも十分に充電をしてください。

重要

- しばらく光に当て続けても 1 秒針が 12 時位置のまま動かないときは、過放電が検出されて充電ができなくなっている可能性があります。
  バッテリー（二次電池）の交換をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にご依頼ください。

◆時計が停止するまでの時間

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで：約 7 ヵ月

充電不足の状態が始まってから時計が停止するまで：約 20 日

充電にかかる時間

充電の目安として、下表をご活用ください。

◆1日、使用するために必要な充電時間

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	8 分
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	30 分
曇りの日の窓際など（5,000 ルクス）	48 分
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	8 時間

◆充電量の回復に必要な時間

環境（照度）	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	8 時間	27 時間
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	26 時間	102 時間
曇りの日の窓際など（5,000 ルクス）	41 時間	165 時間
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	450 時間	—

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

節電（パワーセービング機能）

パワーセービング機能とは、午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

- 節電状態には、レベル 1 とレベル 2 の 2 段階があります。

節電レベル	節電開始までの所要時間	時計の状態
レベル 1	暗い場所に置いてから約 1 時間	• 秒針が停止します。 • その他の機能は作動しています。
レベル 2	レベル 1 の状態が 6 ～ 7 日間	• すべての針が 12 時位置で停止します。 • 日付は作動しています。 • アラームとタイマーの音が鳴らなくなります。 • 時計機能のみ作動しています。

参考

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
  - いずれかのボタンを押す
  - 時計を明るい場所に置く

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖など
  に隠れていると節電状態になることがあります。
- 節電状態になるのは、時刻モードのときです。

自動的に時計を合わせる（GPS電波と標準電波）

GPS 電波または標準電波を受信すると、自動的に時刻と日付を合わせることができます。

重要

- GPS 電波の時刻情報や標準電波を受信するためには、事前に GPS から位置情報を取得して、ホーム都市（タイムゾーン）を設定しておいてください。

GPS から位置情報を取得する…P.29

時計をご使用になる地域により、日常のご使用方法は異なります。

標準電波を受信できる地域

夜間（午前 12 時から午前 5 時）、標準電波を受信すると、自動的に時刻や日付を合わせることができます。標準電波を受信できないときは、朝から夜にかけて（午前 6 時から午後 10 時）、GPS 電波を受信して自動的に時刻と日付を合わせることができます。

- 日本国内は、標準電波を受信できる地域です。

標準電波の受信範囲と条件…P.35

標準電波を受信できない地域

朝から夜にかけて（午前 6 時から午後 10 時）、GPS 電波を受信すると、自動的に時刻と日付を合わせることができます。

また、標準電波を受信できる地域、できない地域に関わらず、ボタン操作で自動的に時刻と日付を合わせることができます。

GPS から時刻情報を受信する…P.32

GPS電波で時計を合わせる

受信に適した場所（GPS電波）

ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外で文字板を真上に向けてください。

参考

- 受信しにくいときは、文字板を上に向けて動かさないようにしてください。
- 自動的に受信する際は、衣服の袖が時計の文字板にかからないようにご注意ください。

自動的に GPS 電波を受信する…P.31

- 以下の場所では、GPS 電波を受信しにくくなります。
  - 上空の見える範囲が狭い場所
  - 樹木やビルの近く
  - 駅や空港など混雑した場所
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
  - 上空が見えない場所
  - 地下、トンネル内
  - 屋内（窓の近くでは受信できることがあります）
  - 無線通信機器など磁気を発する機器の近く

ご購入直後や旅先での時刻合わせ

◆GPSから位置情報を取得する

位置情報を取得すると、自動的に時計が現在地に合わせてホーム都市（タイムゾーン）を設定します。また、自動的に現在地の時刻と日付を表示します。

- この操作は多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。
- 工場出荷時に、日本国内の位置情報を取得しています。日本国内のご使用で、時刻と日付が合っている場合は、位置情報を取得しなくてもご使用いただけます。

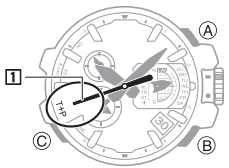
時刻モードの通常状態で操作します。

操作概略…P.40

❶受信に適した場所に移動して、文字板を真上または空の方向に向けてください。

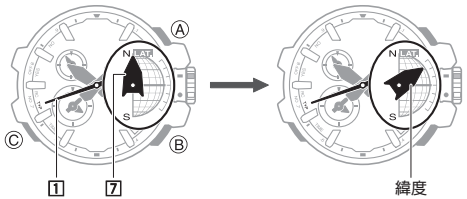
受信に適した場所（GPS 電波）…P.28

❷1 秒針が「T+P」の位置に移動するまで、Ⓑボタンを 3 秒以上押し続けます。1 秒針が「T+P」を示したら、Ⓑ ボタンから指を離してください。



1 秒針が「T+P」の位置に移動すると、位置情報の取得が開始されます。1 秒針が「Y」（YES）、「N」（NO）あるいは「T」（TIME）を示しても、「T+P」に移動するまで押し続けてください。

- GPS から位置情報の取得を開始すると、7 モード針が何回か半円を描くように動き始めます。7 モード針はいったん 12 時位置で停止した後、受信が成功するとおおまかな緯度を示します。



- 位置情報の取得には約 30 秒から約 2 分かかります。うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることもあります。

  うるう秒について…P.33
- 位置情報の取得に成功すると、1 秒針が「Y」(YES) を示した後、自動的に時計が現在地の時刻と日付を表示します。
- 設定されたホーム都市（タイムゾーン）と受信した場所のおおまかな緯度を確認できます。

  受信結果（取得結果）を確認する…P.37
- 位置情報の取得に失敗すると、1 秒針が「N」(NO) を示した後、受信前の状態のまま時刻と日付を表示します。

参考

- 機内モードを解除後、6：00 から 22：00 の間に、光（晴れた日の窓辺くらいの明るさ）が約 1 分から約 2 分連続して文字板に当たると自動的に位置情報の取得を開始します。

  飛行機内でのご使用について(機内モード)…P.42
- タイムゾーンの境界線近くでは適切な位置情報を取得できないことがあります。位置情報を取得して設定されたホーム都市（タイムゾーン）が適切でない場合は、時刻と日付が正しく表示されません。タイムゾーン内の代表都市やタイムゾーンの中心に近い場所で改めて位置情報を取得してください。または、ボタンとりゅうずを操作してホーム都市（タイムゾーン）とサマータイムを設定した後、時刻情報を受信して時刻と日付を合わせてください。

  ホーム都市（タイムゾーン）の設定…P.53

  サマータイムの設定…P.54

  GPS から時刻情報を受信する…P.32

日常の時刻合わせ（GPS電波）

◆自動的にGPS電波を受信する

ホーム都市（タイムゾーン）の設定に沿って、GPS 電波の時刻情報を自動受信します。

受信の際は、時刻モードの通常状態にしてください。

操作概略…P.40

●以下の条件をすべて満たすと GPS 電波の「時刻情報」を自動的に受信します。

- 6：00 から 22：00 の間
- 文字板に光（晴れた日の窓辺くらいの明るさ）が約 1 分から約 2 分連続して当たっている
- 夜間に標準電波の受信が成功していない

●機内モードを解除した後、以下の条件を満たすと GPS から「位置情報」を自動的に取得します。

- 6：00 から 22：00 の間
- 文字板に光（晴れた日の窓辺くらいの明るさ）が約 1 分から約 2 分連続して当たっている

- 「時刻情報」の受信には、約 7 秒から約 1 分かかります。うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることもあります。
- 「位置情報」の取得には、約 30 秒から約 2 分かかります。うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることもあります。

うるう秒について…P.33

- 受信や取得に成功すると、自動的に時計が時刻と日付を合わせます。
- 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

受信結果（取得結果）を確認する…P.37

いま時刻合わせをしたいとき

◆GPSから時刻情報を受信する

日常のご使用中に時間がずれていると思われたときに、操作してください。

- この操作は多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

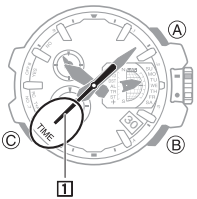
時刻モードの通常状態で操作します。

操作概略…P.40

❶受信に適した場所に移動して、文字板を真上または空の方向に向けてください。

受信に適した場所（GPS 電波）…P.28

❷Ⓑ ボタンを 1 秒以上押します。1 秒針が「T」（TIME）を示したらすぐに指を離してください。



1 秒針が「T」（TIME）の位置に移動すると、時刻情報の受信が開始されます。1 秒針が「Y」（YES）または「N」（NO）を示しても、「T」（TIME）に移動するまで押し続けてください。

- 受信には約7秒から約1分かかります。うるう秒情報を受信する場合は、最大で13分かかることもあります。

  うるう秒について…P.33

- 受信に成功すると、1 秒針が「Y」（YES）を示した後、ホーム都市（タイムゾーン）、サマータイムの設定に沿って、自動的に時計が時刻と日付を合わせます。

- 受信に失敗すると、1 秒針が「N」(NO)を示した後、受信前の状態のまま時刻と日付を表示します。

うるう秒について

6 月 1 日以降または 12 月 1 日以降に GPS 電波を受信すると、うるう秒情報を受信する場合があります。

- うるう秒情報の受信には、最大で約 13 分かかります。
- うるう秒情報を受信すれば、次の 6 月 1 日または 12 月 1 日まで、うるう秒情報を受信することはありません。

以下の状況で GPS 電波を受信したときも、うるう秒情報を受信します。

- 長期間、GPS 電波を受信しなかったとき
- うるう秒情報の受信に失敗したとき
  (うるう秒情報は成功するまで受信を繰り返します)

標準電波で時計を合わせる

受信に適した場所（標準電波）

金属を避けて、時計の 12 時位置を窓に向けて置いてください。標準電波を受信させている間は、時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側

日常の時刻合わせ（標準電波）

◆自動的に標準電波を受信する

標準電波の受信機能に対応している地域でご使用の場合は、標準電波を自動受信します。

標準電波の受信範囲と条件…P.35

受信の際は、時刻モードの通常状態にしてください。

操作概略…P.40

● 午前 12 時から午前 5 時の間に、受信に適した場所に、時計を置いておいてください。

- 標準電波の受信中は 1 秒針が「RC」を示します。
- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。
- 受信に成功すると、自動的に時計が時刻と日付を合わせます。
- 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

受信結果（取得結果）を確認する…P.37

標準電波の受信範囲と条件

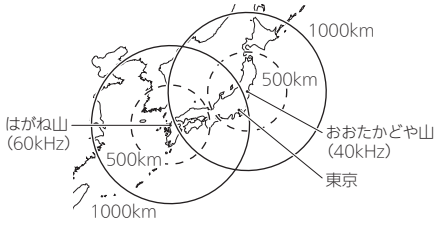
標準電波の受信機能に対応している都市（タイムゾーン）

都市	受信する電波
TOKYO（TYO）	日本の標準電波（JJY）
HONG KONG（HKG）	中国の標準電波（BPC）
NEW YORK（NYC）/ CHICAGO（CHI）/ DENVER（DEN）/ LOS ANGELES（LAX）	アメリカの標準電波（WWVB）
LONDON（LON）/ PARIS（PAR）/ ATHENS（ATH）	イギリスの標準電波（MSF） ドイツの標準電波（DCF77）

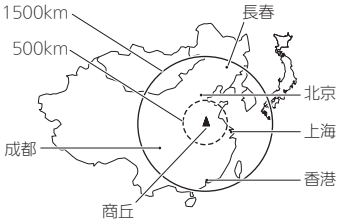
参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。
  図（36ページ）内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。

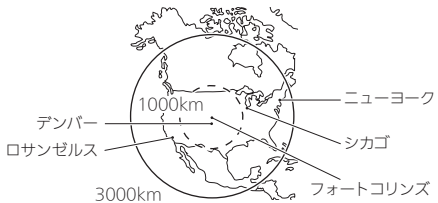
<日本(JJY)>



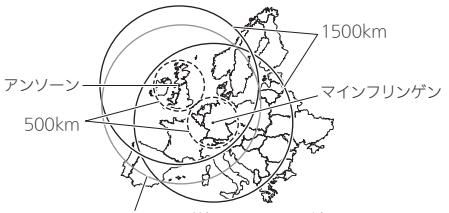
<中国(BPC)>



<アメリカ(WWVB)>



<イギリス(MSF)/ドイツ(DCF77)>



アンソーンから送信されている電波は、
この範囲でも受信できます。

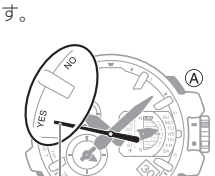
受信結果（取得結果）を確認する

時刻モードで操作します。

操作概略…P.40

Ⓑ ボタンを押します。

- 前回の GPS 電波（位置情報）、GPS 電波（時刻情報）、または標準電波の受信結果（取得結果）を確認できます。



1 秒針の表示と受信結果

Y（YES）	受信成功
N（NO）	受信失敗

参考

- 受信が成功していても、その後に手動で時刻や日付を変更した場合は、1 秒針が「N」（NO）を示します。
- 位置情報を取得済みであれば、何も操作しないまま 1 ～ 2 秒経過すると、設定されているホーム都市（タイムゾーン）と受信した場所のおおまかな緯度を確認できます。

  1 秒針：ホーム都市（タイムゾーン）
  7 モード針：受信した場所のおおまかな緯度

- Ⓑ ボタンを押す、または何も操作をしないまま 1 ～ 2 秒経過すると現在時刻に戻ります。

受信のご注意

- 時計が以下の状態のときは、GPS 電波と標準電波を受信できません。
  - 充電不足のとき
  - 機内モード、ストップウオッチモード、タイマーモード、アラームモードのとき
  - 節電レベル 2 のとき
    （GPS 電波は節電レベル 1 のときも受信できません）
  - りゅうずを引いているとき
  - ストップウオッチやタイマーで計測中
  - 時計の温度が約−10℃以下または約60℃以上になったとき
- 電波を受信して時刻合わせをする際に、時計内部の演算処理などにより若干（1 秒未満）のずれが発生します。
- 受信に成功すると、ホーム都市（タイムゾーン）、サマータイムの設定に沿って、自動的に時計が時刻と日付を合わせます。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
  - 開始日時・終了日時の規定が変わった
  - 位置情報が正しく取得できていない
  - 位置情報は取得できたが、都市の境目などで異なる情報を受信した
- 中国は 2013 年 12 月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。
- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差± 15 秒の精度で動きます。

モードの種類と切り替え

各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
すべてのモード	• ホーム都市（タイムゾーン）の時刻表示 • ホーム都市（タイムゾーン）、サマータイムの設定 • 時刻、日付の手動合わせ • 針と日付のずれ補正	P.40 P.53, P.54 P.56 P.60
時刻	• GPS 電波、標準電波の受信（機内モード設定時を除く） • GPS 電波、標準電波の受信結果（取得結果）を表示 • ワールドタイム都市（タイムゾーン）とサマータイムの設定 • ワールドタイム都市（タイムゾーン）の時刻表示 • UTC（協定世界時）の時刻表示（簡易操作）	P.27 P.37 P.44 P.44 P.45
ストップウオッチ	1/20（0.05）秒単位での時間計測	P.47
タイマー	タイマーの設定、計測	P.48
アラーム	アラームの設定	P.50

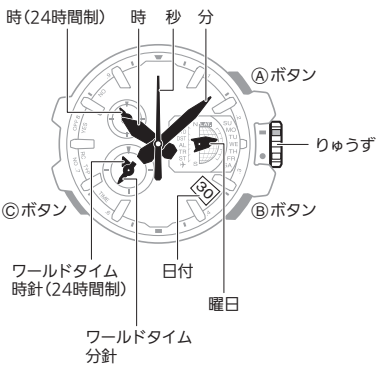
操作概略

Ⓒ ボタンを押して、モードを切り替えます。

- Ⓒ ボタンをピッピッと音が鳴るまで（2 秒以上）押し続けると、どの状態からでも時刻モードに戻ることができます。
- Ⓒ ボタンをピーッと音が鳴るまで（4 秒以上）押し続けると、どの状態からでも機内モードの設定や解除ができます。

飛行機内でのご使用について（機内モード）…P.42

時刻モード



- 通常状態では、7 モード針が曜日を示します。
- 機内モードでは 7 モード針が曜日の代わりに、「✈」を示します。

Ⓐ ボタン

- 1 回押すとライトが点灯します。

Ⓑ ボタン

- 1 回押すと電波の受信結果が確認できます。
- 1 秒押し続けると GPS から時刻情報の受信を開始します。
- 3 秒押し続けると GPS から位置情報の取得を開始します。

Ⓒ ボタン

- 1 回押すとストップウオッチに切り替わります。

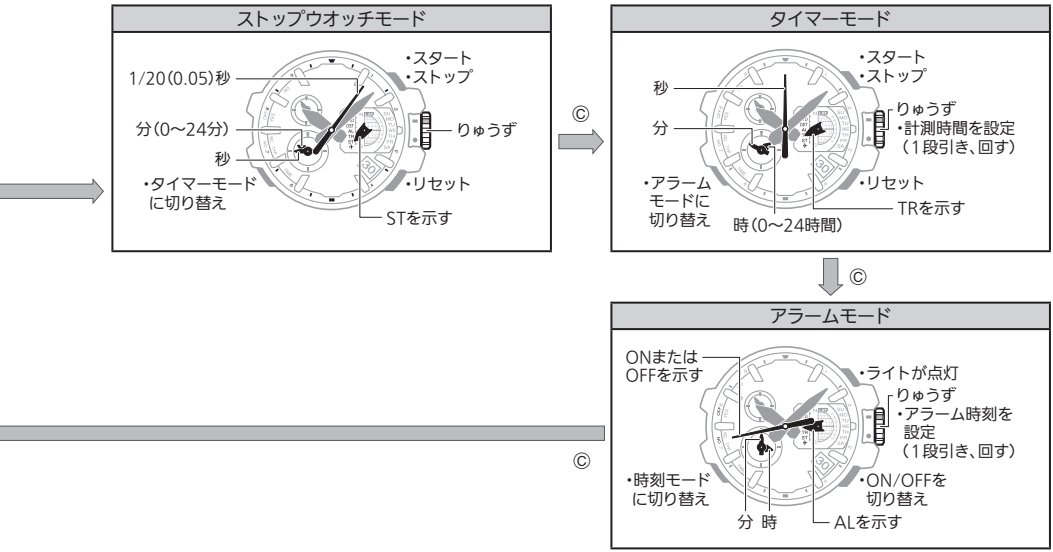
重要

- 時刻、曜日を示す針や日付が適切な位置からずれていると感じられたときは、ずれの補正をお試しください。

針や日付のずれ補正…P.60

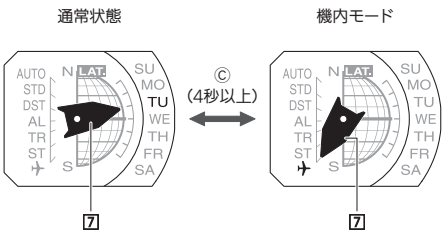
Ⓒ

- どのモードにいても、タイマーのタイムアップ音や設定した時刻になったことを知らせるアラーム音が鳴ります。
  ボタン（ⒶⒷⒸ のどのボタンでも構いません）を押すと、音は止まります。



飛行機内でのご使用について（機内モード）

- 飛行機内など電波の受信が禁止や制限されている場所では、機内モードに切り替えてください。
- 機内モードにすると、GPS 電波と標準電波を受信できなくなります。



- どの状態からでも Ⓒ ボタンを 4 秒以上押し続けると、通常状態と機内モードの切り替えができます。
- 上図のように、通常状態と機内モードは、時刻モードの 7 モード針の位置（通常状態は「曜日」、機内モードは「✈」）で識別できます。
- 機内モードでは曜日は表示できません。

機内モードにするには

● 通常状態で Ⓒ ボタンを 4 秒以上押し続けます。

押し始めてから 2 秒後にモードが切り替わっても、指を離さないで 4 秒以上押し続けてください。

- 機内モードに切り替わります。

機内モードを解除するには（通常状態に戻すには）

● 機内モードで Ⓒ ボタンを 4 秒以上押し続けます。

押し始めてから 2 秒後にモードが切り替わっても、指を離さないで 4 秒以上押し続けてください。

- 通常状態に戻ります。

参考

- 機内モードでも、到着地のホーム都市（タイムゾーン）を手動で設定すると、到着地の時刻を確認できます。この場合も、飛行機を降りたら、機内モードを解除して、GPS から位置情報を取得して、現在地の特定と時刻合わせをされることをおすすめします。

ホーム都市（タイムゾーン）を変更する…P.53

GPS から位置情報を取得する…P.29

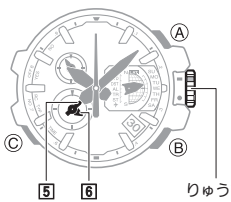
- 機内モードを解除した後、以下の条件を満たすと GPS から位置情報を自動的に取得します。
  - 6：00 から 22：00 の間
  - 光（晴れた日の窓辺くらいの明るさ）が文字板に約 1 分から約 2 分連続して当たっている

ワールドタイム

世界 40 タイムゾーンの現在時刻を知ることができます。ワールドタイムで選択した都市（タイムゾーン）を「ワールドタイム都市（タイムゾーン）」といいます。

- 「ワールドタイム都市（タイムゾーン）」の現在時刻は時刻モードで表示されます。

針の見方



5 小分針／6 小時針：ワールドタイム都市（タイムゾーン）の時刻を表示します。

ワールドタイム都市（タイムゾーン）を選択する

時刻モードで操作します。

操作概略…P.40

❶ りゅうずを 1 段引きます。

- ワールドタイム都市（タイムゾーン）を変更できる状態になります。
- 1 秒針が現在選択しているワールドタイム都市（タイムゾーン）を示します。
- 時計のベゼルやダイヤルリングなどに表示されている「•」は、「都市・タイムゾーン表示と時差一覧」の「ー」に該当します。

❷ りゅうずを回し、1 秒針を設定したい都市（タイムゾーン）の位置に合わせます。

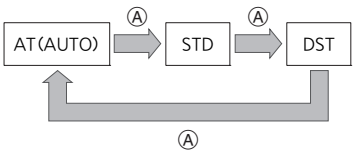
- 都市コード（タイムゾーン）を選択すると、5 小分針と 6 小時針が動き、選択した都市（タイムゾーン）の時刻を表示します。
- 7 モード針が、1 秒針が示している都市（タイムゾーン）のサマータイムの設定を示します。

都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75

❸ サマータイムの設定を変更するには、Ⓐ ボタンを 1 秒間押し続けます。

Ⓐ ボタンを 1 秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番に切り替わります。

- 「AT」（AUTO）に設定すると、自動でサマータイムへ切り替わります。



サマータイムの設定とそれぞれの設定内容…P.55

参考

- 都市（タイムゾーン）として、時計のベゼルやダイヤルリングなどに表示されている「•」を選択したときは、サマータイムの切り替えは「STD」と「DST」のみになります。
- 都市（タイムゾーン）で「UTC」を選択したときは、「STD」と「DST」の切り替えはできません。

❹ りゅうずを戻します。

重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

UTC（協定世界時）に切り替える

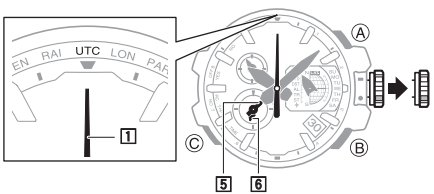
時刻モードで操作します。

操作概略…P.40

❶ りゅうずを 1 段引きます。

❷ Ⓑ ボタンを 1 秒以上押し続けます。

- 5 小分針、6 小時針が UTC（協定世界時）の時刻を表示します。



❸りゅうずを戻します。

重要

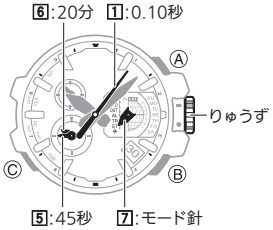
- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

ストップウオッチ

ストップウオッチは 1/20（0.05）秒単位で 23 分 59 秒 95（24 分計）まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、計測を停止します。

針の見方

例）計測時間が「20 分 45 秒 10」の場合



1 秒針：計測時間を 1/20（0.05）秒単位で表示します。
- 文字板に 0.05 秒単位の目盛りが印刷されています。

5 小分針：計測時間を 1 秒単位で表示します。
6 小時針：計測時間を 1 分単位で表示します（0 ～ 24 分）。
7 モード針：ストップウオッチモード「ST」を示します。

計測する

❶ ストップウオッチモードに切り替えます。

操作概略…P.40

❷ 計測するときのボタン操作は、以下の通りです。

Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓑ
スタート　ストップ　（再スタート）　（ストップ）　リセット

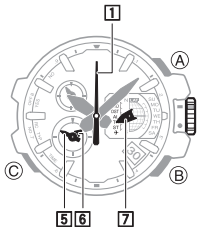
参考

- 1 秒針（1/20（0.05）秒針）は計測開始から 30 秒間動きます。30 秒経過後は 12 時位置で止まり、計測を停止すると計測時間の位置まで針が動きます。

タイマー

タイマーは、1 分から 24 時間まで設定することができます。
タイムアップになるとタイムアップ音が 10 秒間鳴ります。

針の見方



1 秒針：計測時間を 1 秒単位で表示します。カウントダウン計測時は反時計回りに動きます。
5 小分針：計測時間を 1 分単位で表示します。
6 小時針：計測時間を 1 時間単位で表示します（0 ～ 24 時間）。
7 モード針：タイマーモード「TR」を示します。

計測時間を設定する

❶ タイマーモードに切り替えます。

操作概略…P.40

❷ りゅうずを 1 段引きます。

❸ りゅうずを回して、タイマー計測時間を 1 分～ 24 時間の間で設定します。

針は早送り／早戻しで合わせることができます。

りゅうずの操作…P.17

❹ りゅうずを戻します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

計測する

●タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓐ ➡ Ⓑ

スタート　ストップ　（再スタート）（ストップ）　リセット

参考

- 計測をストップした状態で Ⓑ ボタンを押すと、カウントダウン開始前の設定時間にリセットします。
- 計測中にりゅうずを引くと、カウントダウンを中止してタイマー設定の状態になります。

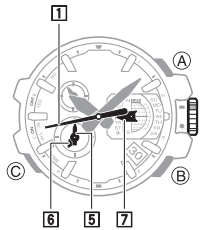
タイムアップ音を止める

●ボタン（ⒶⒷⒸ のどのボタンでも構いません）を押すとタイムアップ音が止まります。

アラーム

アラームをオンにすると、現在時刻に合わせて、設定時刻にアラーム音が 10 秒間鳴ります。

針の見方



1 秒針：アラームの ON/OFF 設定を表示します。
5 6 小分針 / 小時針：アラームが鳴る時刻を表示します。
7 モード針：アラームモード「AL」を示します。

アラーム時刻を設定する

❶ アラームモードに切り替えます。

操作概略…P.40

❷ りゅうずを 1 段引きます。

りゅうずを引くとアラームがオンになります。

❸ りゅうずを回して、アラーム時刻を設定します。

針は早送り／早戻しで合わせることができます。

りゅうずの操作…P.17

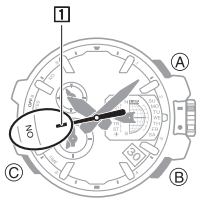
❹ りゅうずを戻します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

アラームのON/OFFを切り替える

●アラームモードで、Ⓑ ボタンを押して、1 秒針が示すアラームの ON または OFF を切り替えます。



参考

- 充電量が低下しているときは、アラーム音が鳴りません。
- 節電状態レベル 2 のときはアラーム音が鳴りません。

節電（パワーセービング機能）…P.25

アラーム音を止める

●ボタン（ⒶⒷⒸ のどのボタンでも構いません）を押すと、アラーム音が止まります。

ライト

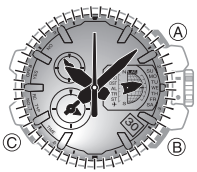
暗いところで時計の表示を見るときに、LED ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

時刻モードまたはアラームモードで操作します。

操作概略…P.40

Ⓐ ボタンを押します。

- ライトは徐々に明るくなり、約 2 秒間点灯した後、徐々に暗くなります。



参考

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- 針が早送りされているときは、ライトは点灯しません。

飛行機内でご使用のときなど、GPS 電波を受信して現在地の特定や時刻合わせができない環境では、ボタンやりゅうずを操作して、ホーム都市（タイムゾーン）やサマータイムを設定することができます。
時計のベゼルやダイヤルリングなどに表示されている「•」は、「都市・タイムゾーン表示と時差一覧」の「ー」に該当します。

GPS から位置情報を取得する…P.29
都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75
サマータイムの設定…P.54

ホーム都市（タイムゾーン）の設定

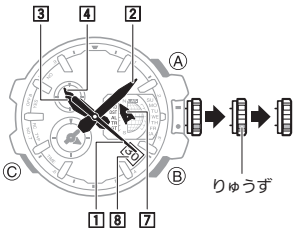
設定できる都市（タイムゾーン）は、「都市・タイムゾーン表示と時差一覧」をご覧ください。

都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75

重要

- この時計を日本で使用する場合は、ホーム都市（タイムゾーン）を東京（TOKYO/TYO）に設定します。

◆ホーム都市（タイムゾーン）を変更する



1 秒針：都市（タイムゾーン）を示します。
2 分針
3 時針
4 時針（24 時間制）
7 モード針：サマータイム設定を示します。
8 日付

❶ りゅうずを 2 段引きます。

- ホーム都市（タイムゾーン）を変更できる状態になります。
- 1 秒針が現在選択している都市（タイムゾーン）を示します。

❷ りゅうずを回し、1 秒針を設定したい都市（タイムゾーン）の位置に合わせます。

都市（タイムゾーン）を変更すると、3 時針、2 分針および 8 日付が動き、選択した都市（タイムゾーン）の時刻、日付を表示します。

- 7 モード針が、選択した都市（タイムゾーン）のサマータイムの設定を示します。

都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75

❸ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

サマータイムの設定

この時計は、都市（タイムゾーン）ごとにサマータイムを設定できます。

各都市（タイムゾーン）のサマータイムの設定は、「AT」（AUTO）が初期状態（工場出荷時の状態）です。サマータイムの設定が「AT」（AUTO）であれば、自動でサマータイムへ切り替わるので、設定を変更する必要はありません。

ただし、次の場合は、夏時間（サマータイム）の期間中は「DST」に設定を変更してご使用ください。

- 手動で時計のベゼルやダイヤルリングなどに表示されている「•」に設定した場合（位置情報を取得して「•」が自動的に設定された場合は、「AT」（AUTO）から設定を変更する必要はありません）

- 現在地と時計に設定されている都市（タイムゾーン）のサマータイムの実施期間が異なる場合

都市・タイムゾーン表示と時差一覧…P.75

参考

- サマータイムは、DST（Daylight Saving Time）とも言います。

サマータイムの設定とそれぞれの設定内容

AT（AUTO） （STD/DST 自動切り替え）	スタンダードタイムとサマータイムがカレンダーによって自動で切り替わります。
STD （STD 固定）	常にスタンダードタイムを表示します。
DST （DST 固定）	常にサマータイムを表示します。

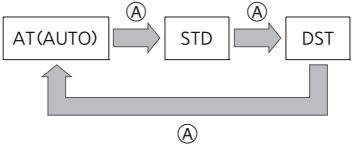
◆サマータイムの設定を切り替える

❶ りゅうずを 2 段引きます。

- 7 モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷ Ⓐ ボタンを 1 秒間押し続けます。

Ⓐ ボタンを 1 秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番に切り替わります。



❸ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

参考

- 次の場合、GPS から位置情報を取得すると、自動的に「AT」（AUTO）に設定されます。
  - タイムゾーンが受信前と異なる
  - サマータイムの規定（開始日時、終了日時）が受信前と異なる地域を位置情報として取得した

時刻や日付を手動で合わせる

GPS 電波、標準電波が届かない場所でご使用の場合など、自動的に時刻や日付を合わせることができないときは、時刻と日付を手動で合わせます。

重要

- 時刻と日付が合っているときは、以下の操作は必要ありません。
- 以下の操作で時刻や日付を合わせたときは、GPS 電波の受信に適した場所に移動された後、位置情報を取得して、現在地を特定し、時刻と日付を合わせられることをおすすめします。

受信に適した場所（GPS 電波）…P.28

GPS から位置情報を取得する…P.29

りゅうずを 2 段引いて、Ⓒ ボタンを押すごとに、設定できる箇所が以下の順に移動します。

- 該当箇所の針が動きます。

「時分」では 2 分針が小さく動きます。

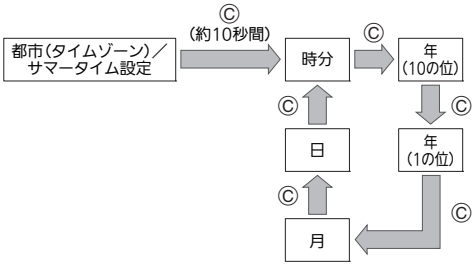
「年」「月」では、7 モード針が以下の位置に移動します。

年（10 の位）：12 時位置

年（1 の位）：3 時位置

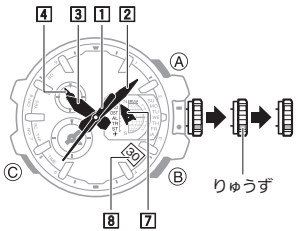
月：6 時位置

「日」では 8 日付が小さく動きます。



設定したら、時報に合わせてりゅうずを戻してください。 時刻の表示に戻ります（秒針は0から動き始めます）。

◆時刻と日付の合わせ方



1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針（24 時間制）
7 モード針：サマータイム設定を示します。
8 日付

- 4 時針（24 時間制）は、12 時位置が 24 時、6 時位置が 12 時を表します。

❶ りゅうずを 2 段引きます。

1 秒針が現在選択している都市コード（タイムゾーン）を示し、7 モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷ 都市（タイムゾーン）とサマータイムを設定します。

ホーム都市（タイムゾーン）の設定…P.53
サマータイムの設定…P.54

❸ Ⓒ ボタンをピッと音がするまで約 10 秒間押し続けます。

1 秒針が 0 秒位置に移動して止まります。時刻の手動合わせができる状態です。

❹ りゅうずを回し、「時」と「分」を合わせます。

針は早送り / 早戻しで合わせることができます。

- 午前・午後は 4 24 時間計を参考にして合わせてください。

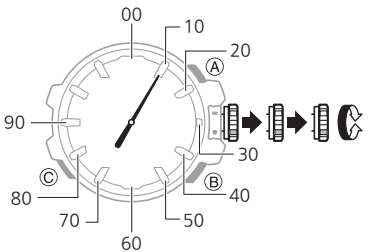
りゅうずの操作…P.17

- 時計の年月日が合っているときは、時報に合わせてここでりゅうずを戻してください。りゅうずを戻すと時刻の表示に戻ります。
- 年月日を合わせたいときは、手順 5 に進んでください。

❺ Ⓒ ボタンを押します。

「年（10 の位）」を設定できる状態になります。
- 7 モード針が 12 時位置に移動します。

❻ りゅうずを回し、「年（10 の位）」を設定します。

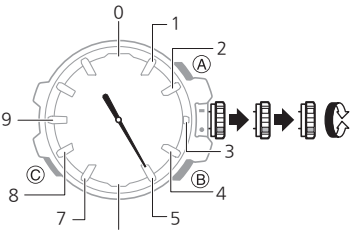


〈西暦の 10 の位〉

❼ Ⓒ ボタンを押します。

「年（1 の位）」を設定できる状態になります。
- 7 モード針が 3 時位置に移動します。

❽ りゅうずを回し、「年（1 の位）」を設定します。

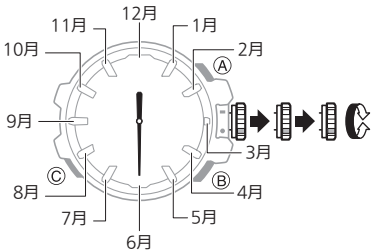


〈西暦の 1 の位〉

❾ Ⓒ ボタンを押します。

「月」を設定できる状態になります。
- 1 秒針が現在の月まで移動します。
- 7 モード針が 6 時位置に移動します。

⑩ りゅうずを回し、「月」を設定します。



⑪ Ⓒ ボタンを押します。

「日」を設定できる状態になります。

⑫ りゅうずを回し、「日」を合わせます。

- 「日」は早送り / 早戻しで合わせることができます。
- Ⓒ ボタンを押すと、手順 4 の状態になります。時分を合わせるときは手順 4 にお戻りください。

⑬ 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

参考

- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

針や日付のずれ補正

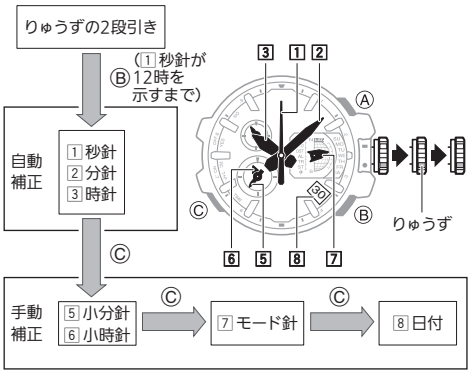
強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。

1 秒針、2 分針、3 時針のずれは自動的に補正します。また、りゅうずとボタンを操作して補正を開始することもできます。

- 4 時針（24 時間制）は、3 時針と同時に補正されます。

◆補正の手順

詳しくは、61 ページから 62 ページの操作手順をご覧ください。



時計の針や日付の表示を確認して、5 小分針、6 小時針、7 モード針および、8 日付の表示が正確な位置からずれているときは、手動でずれを補正してください。

重要

- 補正が完了した後、りゅうずを戻してください。補正の途中でりゅうずを戻すと、それまでに補正してある針は、補正された状態で操作を開始する前のモードに戻ります。

針や日付のずれを補正する

重要

- 正しい時刻を表示しているときは、この操作は必要ありません。

❶ りゅうずを 2 段引きます。

❷ Ⓑ ボタンを、ピッと音が鳴って、1 秒針が 12 時の位置を示すまで（5 秒以上）押し続けます。

- 1 秒針が 12 時の位置を示したら、Ⓑ ボタンを離します。すると、1 秒針、2 分針、3 時針の補正を、自動的に開始します。
- 1 秒針、2 分針、3 時針が 12 時位置に移動して、補正が完了します。

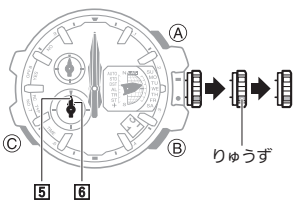
参考

- 4 時針（24 時間制）が 12 時間ずれているときは、3 時針が動き始めるまで、Ⓐ ボタンを 2 秒以上押してください。

❸ Ⓒ ボタンを押します。

- 5 小分針と 6 小時針が 12 時位置で停止することを確認します。
- 5 小分針と 6 小時針の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して 12 時位置に合わせてください。
- 針は早送り／早戻しで合わせることができます。

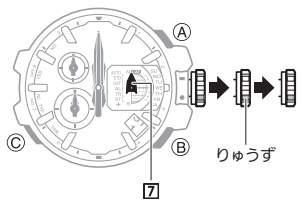
りゅうずの操作…P.17



❹ Ⓒ ボタンを押します。

- 7 モード針が 12 時位置で停止することを確認します。
- 7 モード針の停止位置がずれているときは、りゅうずを回して 12 時位置に合わせてください。
- 針は早送り／早戻しで合わせることができます。

りゅうずの操作…P.17



❺ Ⓒ ボタンを押します。

- 8 日付が進みます。
- 8 日付が 1 を表示するまで待ちます。
- 8 日付が 1 を表示していないときは、りゅうずを回して、1 に合わせます。
- 早送り／早戻しで合わせることができます。

りゅうずの操作…P.17

❻ りゅうずを戻します。

元のモードに戻り、時刻を表示します。

重要

- りゅうずを引いた状態で約30分間何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。
  りゅうずを戻すと、それまでに補正してある針は、補正された状態で操作を開始する前のモードに戻ります。

時刻や日付が自動的に合わない

まず、充電量をご確認になり、不足しているときは充電してください。

充電量の確認…P.19

状況	原因と対処
時刻や日付が自動的に合わない	電波が適切に受信できていないことや針や日付がずれていることが考えられます。 時刻や日付の合わせ方…P.20

針の動きと表示

状況	原因と対処
現在の表示モードがわからない	Ⓒ ボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに戻ってください。 操作概略…P.40 • Ⓒ ボタンを 4 秒以上押し続けると、機内モードの設定や解除ができます。 飛行機内でのご使用について（機内モード）…P.42
秒針が 2 秒ごとに動いている 秒針が 5 秒ごとに動いている	充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電するには…P.23
すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン操作ができない	充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.25
突然、針の動きが速くなった	以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。 • パワーセービング機能を解除し、復帰している。 節電（パワーセービング機能）…P.25 • 電波の自動受信により、時刻合わせをしている。 自動的に時計を合わせる（GPS 電波と標準電波）…P.27

状況	原因と対処
針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった	充電回復モードの状態です。回復するまで（約 15 分）お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。 **参考** • 電波受信を短時間に連続使用すると充電が急激に減少するため、一時的に針の動きを停止して充電回復モードに切り替わります。充電回復モードのときは、すべての機能が使用できなくなりますが、回復すると通常の状態に戻ります。
現在時刻の表示が数時間ずれている	都市（タイムゾーン）の設定が正しくありません。 都市（タイムゾーン）の設定を確認してください。 正しく設定してください。 GPSから位置情報を取得する…P.29 ホーム都市（タイムゾーン）の設定…P.53
現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている	サマータイム設定が正しくありません。 正しく設定してください。 GPSから位置情報を取得する…P.29 サマータイムの設定…P.54
時刻と日付の表示位置がずれている	強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれを補正してください。 針や日付のずれ補正…P.60

りゅうずの操作

状況	原因と対処
りゅうずを回しても、何も操作ができない	りゅうずを引いたまま 2 分以上（針のずれ補正の場合は約 30 分間）何も操作をしないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。 りゅうずの操作…P.17

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない	充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.25 しばらく光に当て続けても動かないときは、過放電が検出されて充電ができなくなっている可能性があります。 バッテリー（二次電池）の交換をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にご依頼ください。

電波受信（GPS電波）

状況	原因と対処
受信中の状態から変化がない（秒針が「T + P」や「T」（TIME）を示したままになっている）	うるう秒を受信している可能性があります。 用語解説…P.11 GPSから位置情報を取得する…P.29 自動的にGPS電波を受信する…P.31 GPSから時刻情報を受信する…P.32 うるう秒について…P.33
受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない	ホーム都市（タイムゾーン）が正しく設定されていない可能性があります。正しく設定してください。 GPSから位置情報を取得する…P.29 ホーム都市（タイムゾーン）の設定…P.53

状況	原因と対処
ホーム都市（タイムゾーン）は正しく設定しているはず、受信にも成功したはずなのに、時刻や日付が合わない	時刻や日付を手動で合わせてください。 時刻や日付を手動で合わせる…P.56

電波受信（標準電波）

標準電波については、以下の都市（タイムゾーン）を設定している場合に該当します。
TOKYO（TYO）, HONG KONG（HKG）, NEW YORK（NYC）, CHICAGO（CHI）, DENVER（DEN）, LOS ANGELES（LAX）, LONDON（LON）, PARIS（PAR）, ATHENS（ATH）

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない	送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。 独立行政法人情報通信研究機構（NICT）日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。 標準電波の受信範囲と条件…P.35
電波が受信できない	ホーム都市（タイムゾーン）が正しく設定されていない可能性があります。正しく設定してください。 GPSから位置情報を取得する…P.29 ホーム都市（タイムゾーン）の設定…P.53

電波受信(共通)

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない	受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。 受信に適した場所(GPS電波)…P.28 受信に適した場所(標準電波)…P.34
	受信中にアラームが鳴った。 受信中にアラームが鳴ると受信を中止します。
	電波障害による受信の失敗。 周辺の環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。 受信に適した場所(GPS電波)…P.28 受信に適した場所(標準電波)…P.34 標準電波の受信範囲と条件…P.35
電波が受信できない	機内モードになっている可能性があります。 時刻モードの通常状態に戻してください。 飛行機内でのご使用について（機内モード）…P.42
	時計が電波を受信できない状態になっている。 受信が可能な状態にしてください。 受信のご注意…P.38

アラーム

状況	原因と対処
アラームが鳴らない	充電量が不足しています。 充電量が回復するまで光を当ててください。 充電不足や充電切れ…P.24
	りゅうずを引いた状態になっています。 りゅうずの位置を戻してください。

製品仕様

精　　度：電波受信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能：時・分・秒、日付（2000～2099年までのフルオートカレンダー）

電波受信機能：GPS電波　自動受信・手動受信
（位置受信、時刻受信）
標準電波　自動受信
受信局自動選択機能（JJY、MSF/DCF77で対応）
受信電波　コールサイン：
JJY（40kHz/60kHz）、BPC（68.5kHz）、WWVB（60kHz）、MSF（60kHz）、DCF77（77.5kHz）
受信結果確認機能
スタンダードタイム／サマータイムの自動／手動切り替え

ワールドタイム機能：世界40タイムゾーンと協定世界時（UTC）の時刻を表示、サマータイム自動設定機能

ストップウオッチ機能：計測単位　1/20(0.05)秒
計測範囲　23分59秒95(24分計)
計測機能　経過時間

タイマー機能：セット単位　1分
計測範囲　24時間
計測単位　1秒

アラーム機能：セット単位　時・分

その他：LEDライト、針位置自動補正機能、
パワーセービング機能、
バッテリー充電警告機能

使用電池：二次電池

持続時間：約7ヵ月
（光に当てないで、以下を使用
GPS時刻受信：1回(約10秒)/2日
GPS位置受信：1回(約36秒)/月
ライト：1回/日
アラーム：1回/日）

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

●防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

●時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

●防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

●時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

●バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
また、周囲の温度が約− 10℃以下または約 60℃以上では使用できる機能が制限されます。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

●アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
●塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
●バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
●蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
●スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
●ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

●金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
●ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

●抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

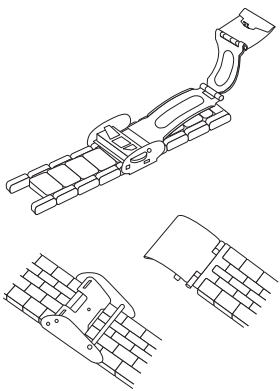
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



都市・タイムゾーン表示と時差一覧

時計のベゼルやダイヤルリングなどの表示と UTC からの時差の関係を表しています。ホーム都市（タイムゾーン）やワールドタイム都市（タイムゾーン）の設定を確認するときは、以下の秒針位置を参考にしてください。
ベゼルやダイヤルリングの「•」は、都市・タイムゾーン表示の「ー」に該当します。

サマータイムの設定を AT（AUTO）のままご使用になっていれば、以下の対応となります。
- GPS から位置情報を取得すると、サマータイムの設定が自動更新されることがあります。

サマータイムの設定…P.54

都市・タイムゾーン表示	秒針位置	UTC からの時差	代表都市名	サマータイム期間	
				サマータイム開始	サマータイム終了
UTC	0 秒	0	協定世界時	なし	なし
LON / LONDON	2 秒	0	ロンドン	3 月最終日曜 1 時	10 月最終日曜 2 時
PAR / PARIS	4 秒	＋1	パリ	3 月最終日曜 2 時	10 月最終日曜 3 時
ATH / ATHENS	6 秒	＋2	アテネ	3 月最終日曜 3 時	10 月最終日曜 4 時
JED / JEDDAH	8 秒	＋3	ジェッダ	なし	なし
ー	9 秒	＋3.5	（テヘラン）	※	
DXB / DUBAI	10 秒	＋4	ドバイ	なし	なし
ー	11 秒	＋4.5	（カブール）	※	
ー	12 秒	＋5	（カラチ）	※	
DEL / DELHI	13 秒	＋5.5	デリー	なし	なし
ー	14 秒	＋5.75	（カトマンズ）	※	

都市・タイムゾーン表示	秒針位置	UTC からの時差	代表都市名	サマータイム期間	
				サマータイム開始	サマータイム終了
DAC / DHAKA	15 秒	＋6	ダッカ	なし	なし
―	16 秒	＋6.5	（ヤンゴン）	※	
BKK / BANGKOK	17 秒	＋7	バンコク	なし	なし
HKG / HONG KONG	19 秒	＋8	香港	なし	なし
―	21 秒	＋8.75	（ユークラ）	※	
TYO / TOKYO	22 秒	＋9	東京	なし	なし
―	23 秒	＋9.5	（アデレード）	※	
SYD / SYDNEY	24 秒	＋10	シドニー	10 月第 1 日曜 2 時	4 月第 1 日曜 3 時
―	25 秒	＋10.5	（ロード・ハウ島）	※	
NOU / NOUMEA	26 秒	＋11	ヌーメア	なし	なし
―	27 秒	＋11.5	（ノーフォーク島）	※	
WLG / WELLINGTON	28 秒	＋12	ウェリントン	9 月最終日曜 2 時	4 月第 1 日曜 3 時
―	30 秒	＋12.75	（チャタム島）	※	
TBU / NUKUALOFA	31 秒	＋13	ヌクアロファ	なし	なし
CXI / KIRITIMATI	33 秒	＋14	キリスィマスィ島	なし	なし
BAR / BAKER ISLAND	36 秒	－12	ベーカー島	なし	なし
PPG / PAGO PAGO	38 秒	－11	パゴパゴ	なし	なし
HNL / HONOLULU	40 秒	－10	ホノルル	なし	なし

都市・タイムゾーン表示	秒針位置	UTC からの時差	代表都市名	サマータイム期間	
				サマータイム開始	サマータイム終了
―	41 秒	− 9.5	（マルキーズ島）	※	
ANC / ANCHORAGE	42 秒	− 9	アンカレジ	3 月第 2 日曜 2 時	11 月第 1 日曜 2 時
LAX / LOS ANGELES	44 秒	− 8	ロサンゼルス	3 月第 2 日曜 2 時	11 月第 1 日曜 2 時
DEN / DENVER	46 秒	− 7	デンバー	3 月第 2 日曜 2 時	11 月第 1 日曜 2 時
CHI / CHICAGO	48 秒	− 6	シカゴ	3 月第 2 日曜 2 時	11 月第 1 日曜 2 時
NYC / NEW YORK	50 秒	− 5	ニューヨーク	3 月第 2 日曜 2 時	11 月第 1 日曜 2 時
―	51 秒	− 4.5	（カラカス）	※	
SCL / SANTIAGO	52 秒	− 4	サンティアゴ	10 月第 2 土曜 24 時	3 月第 2 土曜 24 時
―	53 秒	− 3.5	（セントジョンズ）	※	
RIO / RIO DE JANEIRO	54 秒	− 3	リオデジャネイロ	10 月第 3 日曜 0 時	2 月第 3 日曜 0 時または 2 月第 4 日曜 0 時
FEN / F. DE NORONHA	56 秒	− 2	フェルナンド・デ・ノローニャ	なし	なし
RAI / PRAIA	58 秒	− 1	プライア	なし	なし

※ GPS から位置情報を取得すると、サマータイムには自動的に対応します。手動でタイムゾーンを設定したときは、サマータイムの設定を STD または DST に切り替えてお使いください。

参考

- この表は 2013 年 12 月現在作成のものです。
- この表のタイムゾーンは協定世界時（UTC）を基準としたものです。
- 「ー」と書かれたタイムゾーンは、代表的な都市を代表都市名の欄に（ ）付きで記載しています。